

4 サケ年齢組成と体サイズ

独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 北海道の 10 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚 (2009 年級) は 1994 年以降で 5 番目に少なく、5 年魚 (2008 年級) は 1994 年以降の平均的な水準
- 北海道の日本海側 (オホーツク海区及び日本海区) では、1994 年以降で 4 年魚の来遊数が 7 番目に少ない一方、5 年魚および 6 年魚の来遊が目立つ
- 北海道の沿岸で漁獲されたサケの平均重量、主要河川に遡上したサケの平均尾叉長は、いずれも前年同期より大きい

・サケの年齢組成

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定途中経過をもとに、10 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2009 年級) が前年同期比 95.9%、1994 年以降の平均値の 69.6%となっており、前年並みですが、平年と比べると近年 (1994 年以降) のなかで 5 番目に少ない状況です。一方、5 年魚 (2008 年級) は、前年同期比 105.9%、1994 年以降の平均値の 105.9%となっており、過去の平均並の来遊となっています (図 1)。

年級群 (生まれ年) ごとの来遊数をみると、今年の 4 年魚である 2009 年級は、4 年魚までの来遊数 (2~4 年魚の来遊数) で比べた場合、近年 (1992 年級以降) のなかで 4 番目に少ない来遊数となっています (図 2)。同様に 5 年魚である 2008 年級は、5 年魚までの合計来遊数で比べると近年では 6 番目に低い水準です。

地域別にみると、太平洋側 (根室~えりも以西海区) では、4 年魚および 5 年魚が近年ではそれぞれ 4 番目、8 番目に少ない状況です (図 3)。一方、日本海側 (オホーツク海区及び日本海区) では、4 年魚は近年で 7 番目に少ないのに対して、5 年魚は 4 番目に多く、6 年魚は最も高い水準となっており、5 年魚と 6 年魚の来遊が多くなっています (図 4)。

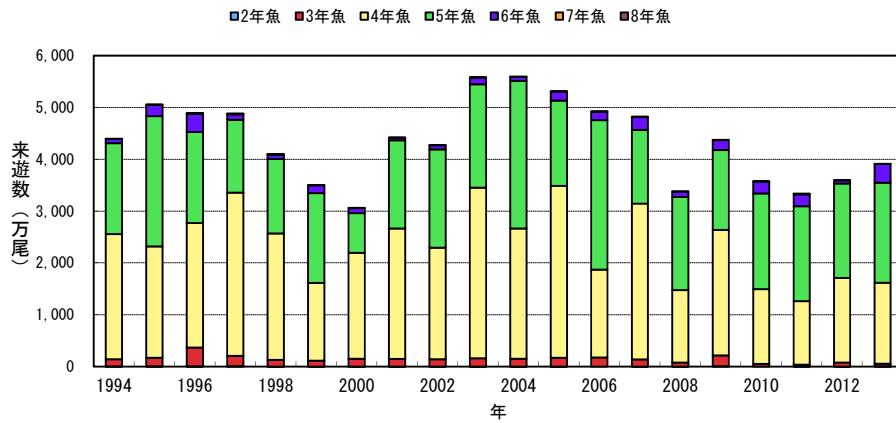


図1. 10月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道）

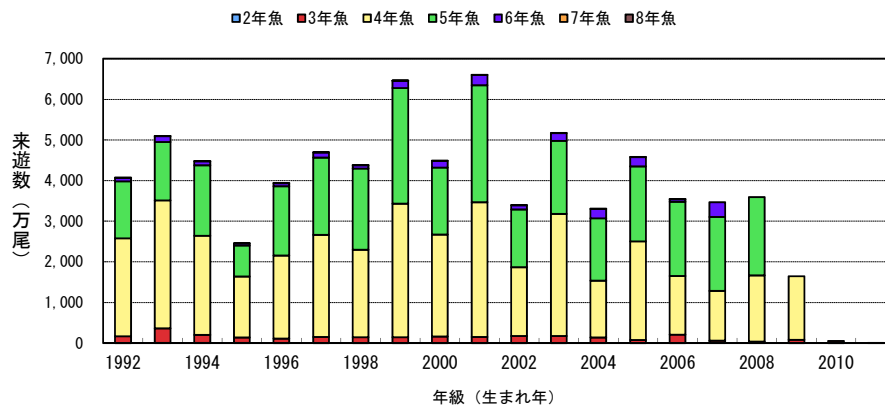


図2. 10月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）

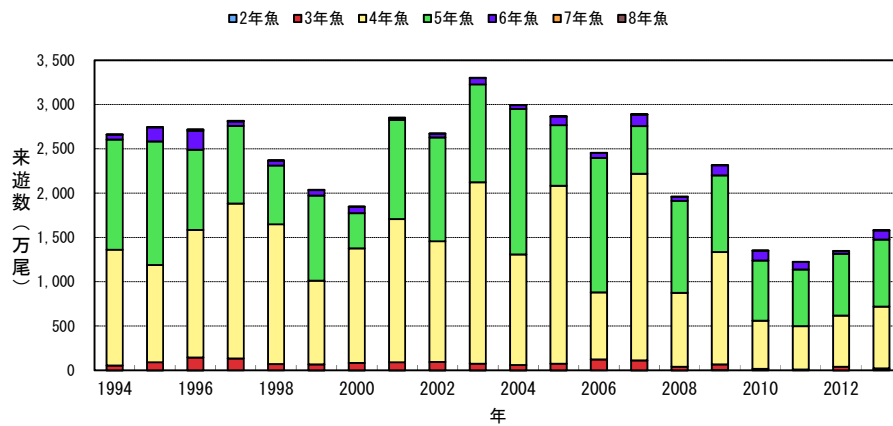


図3. 10月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）

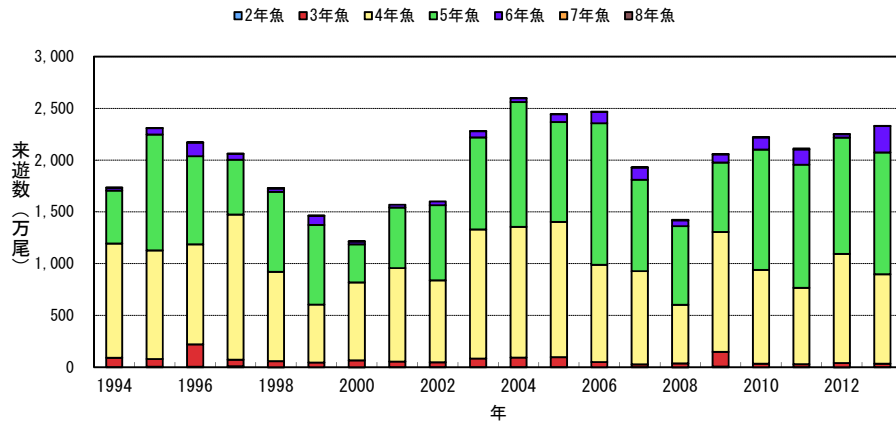


図 4. 10 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）

・サケの体サイズ

北海道における 10 月 31 日現在のサケ 1 尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は 3.36kg であり、これは前年同期比の 108.4%に相当します。平成元(1989)年～平成 23(2011)年の同時期（10 月末時点）における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは平成 19（2007）年～平成 20（2008）年に近い水準となっています（図 5）。

北海道の主要河川で測定された 4 年魚の平均尾叉長は、いずれの河川とも平成以降で小さい水準であった昨年（平成 24（2012）年）を上回っています（図 6）。

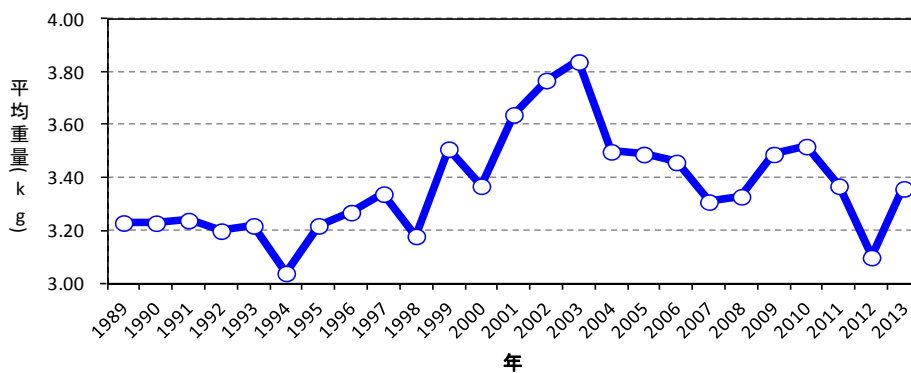


図 5. 10 月末時点のサケ平均重量（北海道）

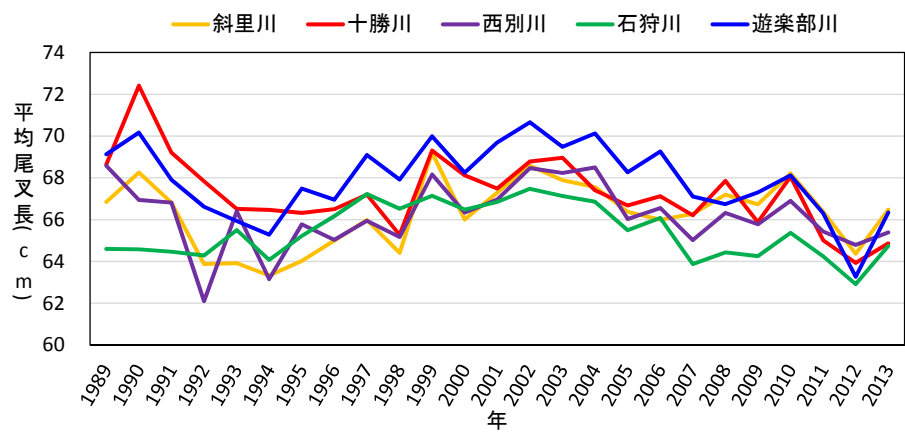


図 6. 北海道の主要河川における 10 月末時点のサケ 4 年魚（雌雄込み）の平均尾叉長